平成19年度 事務事業評価表

		コード	H19-B-02
事務事業名	町民号実行委員会補助金	主管課局	自治防災振興課
	10] 氏与关门女员云铺动亚	担当名	自治防災担当

1.事務事業の概要

	-								
計画体系	(章)	4.ふるさとを育む人	. ふるさとを育む人と文化のまちづくり -3 いきいきとした生涯学習の充実		(会計)		一般会計		
司四件尔	(節)	4-3 いきいきとした:			予算	(款)	総務費		
開始·終了年度	(開始)	昭和	057年	度	予算費目	遺 (項)		総務管理費	
用知 : 終] 牛皮	(終了)		-			(目)	自治防災管理費		
事業の種別		自治事務(任意)		自治事務(義務)	法定	受託事務		
根拠法令等	補助金	等の交付手続等	まに関す	「る規則、美里岡	丁民号	·実施規和	呈		
統合の検討可能な 関連・類似事業									
内容と目的		打民祭の一環として実施しており、旅行を通してコミュニケーションを図り、地域住民が交流を 深め、行政運営の円滑化を図り、豊かで活力のあるまちづくりに資する。							
現状と結果	村民号2回·町民号23回と実施してきているが、当初と比べ参加人数は減少傾向にあり、町民の事業に対する期待感が薄れてきているのではと思われる。								
課題と改善	毎年実施する必要があるか 幅広い年代層への対応が必要								
住民意見	参加者が限られてしまう傾向にあり、事業の必要性に疑問の声がある								
++ <i>4</i> 7, ¥5			7	P成16年度		平成1	7年度	平成18年度	
	3	対 象 数		全町民		全町	[民	全町民	
対 象 数	;	利 用 数		387		16	69	194	

2.経費

		平成16年度	平成17年度	平成18年度
事業費 (千円)		1,935	948	1,096
	受益者負担	0	0	0
財源 内訳	国·県支出金	0	0	0
内訳	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,935	948	1,096
備考				

3.1次評価

評価項目と評価の視点			評 価・ 評価コメント							
		事業の	社会環境や住民ニーズ などかの変化により事業の必要性や役割は変わっていないか		変わっていない	<mark>一部変わった</mark>	变	わった		
	(1) 必要度			コメ ント	26年経過する中で、 では	事業に対する期待が当初	と比較し	薄れてきているの		
妥 当 性		対象設定の 妥当度	事業実施の目的として 対象者は妥当か 特定の団体や個人に 偏っていないか		妥当である	<mark>あまり妥当でない</mark>	妥	当ではない		
	(2)			コメント	町内在住者を対象と	している				
		実施主体の	事業を町以外(民間や		可能でない	<mark>一部可能である</mark>	可	能である		
(3	(3)	美施主体の 代替度	国・県など) に任せることができるか	コメント	実施主体は実行委員	会となっているが、業者委	託でも可	「能と思われる		
		出田の	事業の実施により初期		達成していない	<mark>一部達成している</mark>	達	成している		
有効	(1) 成果の 有 達成度		の目的や目標をどの程 度達成しているか		事業の性質上、目的・目標等の達成度が把握できない					
性		事業の 見直し度	成果の状況を踏まえ、 事業内容を見直す余地 はあるか		見直す余地はない	検討の余地がある	見	直す余地がある		
	(2)			ゴメ ント	全町民を対象としているため、幅広い年代層が参加できる内容とすべきではないか					
		行政コスト	経費節減によりサービ		できない	<mark>検討の余地がある</mark>	でき	きる		
	(1) の削減		ス水準を低下させずに コストを下げることがで きるか		現在一人当たり5,000円補助している					
効		効変性の	事業の効率性を上げる ため他の事業との統合 や事務の省力化など見 直しの余地があるか		見直す余地はない	検討の余地がある	見	直す余地がある		
率性	(2)	向上度		ゴメ ント	事業の性質上見直し	の余地なし				
		3) 受益と負担 との相関度			行政サービスの内容と		適正化の余地はない	検討の余地がある	適	正化の余地がある
	(3)			コメ ント	5,000円の補助につ	ついて				
	総合評価 1.見直しの必要な		:U	見直しの必要あり 2.改善3.充実	4.縮小 5.統合 6	. 廃止	6			
予算反映 1.現状どおり			2. 増額 3. 減額	4 . 廃止		4				
評価理由現在の町の財政状況		況か	ゝら見て、廃止するこ	とで町民の理解が得られ	れると思	われる。				

4.2次評価

総合評価	1 . 見直しの必要なし	見直しの必要あり 2.改善3.充実	4.縮小 5.統合 6.廃止	6
予算反映	1 . 現状どおり	2. 増額 3. 減額	4 . 廃止	4
評価理由		ることもあり、廃止す	犬況にそぐわない。 また、 参加者 べきである。 代わるものとして、	

5.外部意見聴取

評価に対する意見	仕事のある人などは平日に参加できず、不公平感がある事業であり、時代背景も考えると、町としてこういった事業を継続するのはいかがなものかと考える。 強〈廃止を求めたい。
----------	---